

# 10・1、能代ジャズフェスへの思い

## ジャズの楽しさを共有

### 初めて聴く人もぜひ

「今回のジャズフェスで重視していることは何ですか。」

飯田和子さん「能代につながりがあるミュージシャンを集めつつ、音楽の質は落とさないこと。そして、ジャズなんか聴いたことがない子どももお年寄りも障害がある人もみんなで集まって、ジャズという音楽の楽しさを共有する会にしたいと思っています」

「納谷嘉彦さん一人としては、ゆくゆくは演劇や映画などを織り交せて総合芸術祭みたいなものにしたか。」

納谷さん「ないですね。音を選んでもらうのは、かなり昔に能代の成人式に呼ば

れたときに試みたことがあつた。式後、夜に街を歩いたら、出席した成人たちから『すごく良かった』『と抱き付かれた。普通に枯葉とか演奏してもなあ…』と思って、それがハマった。とにかく興味を持ってもらわないと」

「改めてジャズの魅力」

「納谷嘉彦さん一人としては、ゆくゆくは演劇や映画などを織り交せて総合芸術祭みたいなものにしたか。」

納谷さん「ないですね。音を選んでもらうのは、かなり昔に能代の成人式に呼ば

納谷嘉彦さんと  
飯田さん母娘に聞く

下



6月のイベントライブで熱演する  
納谷嘉彦さんと飯田さつきさん

とは。納谷さん「僕はサラリーマンのような菌車的なところに合わず、自分で菌車を作ったらジャズになった。ジャズの面白さは決めない

ところ。その中で出演者がシェイクハンドしようとする。癖があるヤツが多いが（音）つくとイエーイという感じになったり、すごく楽しい音楽」

飯田さつきさん「私は思春期にギヤルで、（東京）渋谷のセンター街に毎日行っていたが、ジャズピアノス

トの父から『これだと思ふな人に会えて、テンションものを一つ極めてみる』とが上がる。さつきさん「急に忙しく（米国の）ジャズ歌手カメナリ、月に15本以上のライブ・マクレエにはまり、プブがある。フェスに向けて口の道に入った。真のボーカリストはデイズ二でも童謡でも『これが私』というオリジナリティーを出す。『あなたはどうか表現する』と問われているのがジャズ」

「コロナ禍に入ってからになりましたが、最近の活動状況はどうでしょうか。」

「初めてジャズを聴く人もいらしてください。あなたが主役です」

#### 出演者

納谷嘉彦侍 FIVE、飯田さつき Special 40 塚本タカセ with 三種ゴスペル、中牟礼貞則、小沼ようすけ、ドラムサークル・飯田和子、島山雄晃パンド、能代超新星ポップスオーケストラ

#### チケット情報

前売り一般3500円、中学生1千円、小学生500円。当日券は一般4千円。市文化会館、夢工房、咲く（上町）、市民プラザ（元町）などで販売中。ライブ配信サービスツイキャストを使った生配信チケットは2500円。